

# ヒロシマ ユネスコ

北京ユネスコクラブ協会  
訪日代表団  
歓迎記念号

## 再見、老朋友

### 姉妹協会北京代表団、十月来広

一九八八年十月、北京秋天下、中国教育国際交流協会で「日中ユネスコ友好姉妹協会」締結調印式が行なわれました。

式の冒頭、中国教育国際交流協会黄仕琦副会長は「日中友好の発展は人類の発展と幸福の原動力である」と挨拶をされ、北京市ユネスコクラブ協会陶西平主席は、姉妹協会の意義を力強く述べられました。

これに対し、訪中代表団団長の加藤朗一広島ユネスコ協会副会長は「日中友好の原点に立って姿勢を正し、友好を進めていきたい」と述べ、また、日本がかつて犯した行為への反省の念

と広島市民の平和希求への願いを表わしました。

そして、一九八九年一月、日中友好、姉妹協会協定が発効し今日まで、締結書に盛り込まれた交互の隔年訪問が相次ぎ、今年、二度目の訪日団を広島に迎えることになりました。

現在、広島市は一九九四年のアジア大会開催へ向けて物心両面の準備が急ピッチで進められています。広島市民は、このような広島市の状況の中で、大会運営のためのハード面とスポーツ競技の枠を超えた、心のアジア大会を花開かせるためにも、アジアの心を心とする北京市の

### 北京市ユネスコクラブ

一九八四年クラブ発足、一九八六年協会成立。現在の会員数は一万数千名。会長は陶西平氏（北京市教育局長）。小学、中学を主にユネスコクラブが結成され、識字運動など国際年のテーマに基いて多彩な活動を展開している。



代表団から、多くのものを今回学ぶことを期待するものです。

### 〈代表団のみなさん〉

団長	高 同福（顧問、北京市教育局副局長）	10月21日（月）	9・30	広島大学附属小学校訪問
団員	謝 平（秘書長、北京市教育局外事処副処長）、劉 亜強（理事、北京市少年宮副主任）張 文煥（理事、北京市海淀区二里溝中心小学校長）、任 廷発（国家教育委員会行政司処長）夏 小義（中国教育国際交流協会スタッフ）胡 志平（中国教育国際交流協会日本担当）	10月22日（火）	13・30 14・00 15・30 18・30 9・30 14・27	原爆慰霊碑献花 平和記念資料館見学 広島市牛田公民館 広島市総合屋内プール見学 歓迎レセプション マツダ工場見学 広島駅発

### 〈日程・広島〉

10月20日（日）	13・10	広島駅着
14・30		広島市立中央図書館、こども文化科学館、映像文化ライブラリー見学

### ■ご案内

北京ユネスコクラブ協会訪日代表団  
歓迎レセプション

日時 10月21日（月）18時30分  
会場 広島ターミナルホテル  
会費 八千円



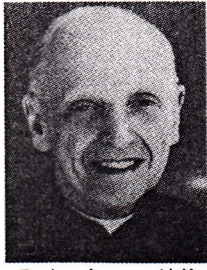
# 奉仕の人 ペドロ・アルペ神父を偲ぶ

深崎 敏之

一九七七年、広島市国際交流担当として勤務することになった私は、荒木市長から「戦後三十年を経過した。お世話になった海外の方にお礼をしたい。考えてほしい」の命を受けた。

一九七八年、第一回国連軍縮特別総会出席の途中、ホノルル市に寄り、一九四七年ハワイ広島県人会より11万ドルの復興資金を頂いたお礼に感謝状と記念品を持参して感謝の意を表した。この頃、広島大学金沢文雄教授より、ヴァチカン市在住のペドロ・アルペ神父が脳血栓で倒れられ病床にあるから、市として、被爆者の救援活動に献身的に奉仕活動が続けられたこととローマ法王広島訪問への進言に対する感謝の気持ちを表わして欲しいとの依頼があった。

一九四六年八月三十一日号の



Pedro Arrupe 神父

「ニューヨーク」に発表され、一日30万部売れたジョン・ハーシー著「ヒロシマ」に、クライン・ゾルゲ神父の行動を中心に長束修練院（爆心地より6k）での活動が少し出てくる。

アルペ神父はスペインのマドリッド大で医学、哲学、神学を専攻した人で、被爆時は長束修練院長であった。「修練院の典雅な礼拝堂に五十名ばかりの避難者を収容し、院長は出来る限りの治療を施した」とある。神父の活躍と業績はあの混乱の中に消え去っているようだ。アルペ神父の在広期間は一九四二年から一九五四年の十三年間である。神父の実情を知るためカトリック三篠教会を訪れ、アルペ神父の治療で九死に一生を得て宗教活動に入られた長谷川神父から、また修練院の近所の方から素晴らしい神父の救援活動を聞いた。調査結果を市長に報告し、ハノーバー市との姉妹提携調印でドイツを訪れる時、市長にヴァチカン市も訪れ、アルペ神父に感謝の気持ちを表わすことにしてもらった。

一九八三年五月三十日、ハノーバー市との調印を終え、午後ローマに到着、J・ピタウ神父（元上智大学長）石野シスター（ローマ法王の日本語教師）と会って翌日のアルペ神父とローマ法王表敬の打ち合わせをする。三十一日朝ホテルを出発、イエズス会総本部を訪れ、ロバート・T・ラッシュ神父（現広島学院中高校校長）とピタウ神父の部屋に入った。荒木市長から被爆者救援活動に對しお礼のことばが述べられ、広島特産の銅虫製品と写真集・広島が贈られると、大変喜ばれた。「自分としては出来ることをしただけのことです」と謙虚なことばであった。広島での行動は少しも触れられなかった。神父がイエズス会総長を退任される時、奉仕とは何かを考えている、ということばがあるが、まさにそのことを追求されているという印象であった。立ち去る時、美しい金色の直径3.5センチの円いメダルを頂いた。

今年二月五日、死去された。同日祇園カトリック教会礼拝堂には空席がないほど人が集まり、瀬戸勝介神父が喪主として葬儀が厳かに行なわれた。私は葬儀を終え、帰宅し、アルペ神父から頂いたメダルを取り出し

じっと見た。表はマリヤ様に抱かれたみどり子のイエス様の像で「愛」を、裏は法王の前で奉仕を誓う神父の像であった。生きることは愛をもって世の中に奉仕することであるとの教えを神父が実行されたのだと思った。現在ボランティア活動の大切さが叫ばれている。この教えはその活動の根源であろう。神父の霊の永遠に安らからんことを。（広島ユネスコ協会副会長）

## 広島アジア

### ウィークに寄す

加藤 朗一

昨年、北京アジア大会を広島ユネスコ協会グループの一人として見学した。

その際、北京市が公募した二十二編のアジア大会の歌の一部に接し、またそれらのカセットテープを入手した。その中から心に残る詞句、若干を摘記し、アジア考察の資とした。

アジア大会は全アジアの歴史的な平和の祭典である。その主催者として北京市は中国の近現代史を回顧し、感慨深いものがあったと思われる。「幾世紀にもわたる風雨は今日の喜びの姿の中に流逝する」。

握する視点が詞にある。「ペーリング海峡の夕陽はダーダネルスの朝焼けとなって輝く。北の雪原のオーロラはヒマラヤの花に照り映える。シルクロードの駱駝の鈴は列島のギターの音に響き合う」「ガンジス河も黄河もアジアの脈。富士山も天山もアジアの心懐し」。

アジア大会は諸民族の祭典の場でもある。諸民族が各々の美と力を誇り合い、認識し合うところ、理解と連帯の心が生まれる場である。「アジアは共同の歴史を持たない。しかし、共同の未来に向かう」。

大会の理念を托するものとして聖火を象徴する詞が多い。「誰が言う、感情は伝えるのが難しいと。われわれの微笑は言葉に勝るのだ。誰が言う、競技場では相手を倒すのだと。われわれは熱烈に抱き合うのだ：声高く歌おう、団結、友誼、進歩。燃え上がるアジア大会の炬火を高く掲げよう」。

（広島ユネスコ協会副会長）





# ともに生きるために ユネスコ高校生アメリカ研修から

永田 龍男

「I AM NO MORE RED」  
—— Gorbatchev 「余は、すでに共産党員にあらず——ゴルバチョフ」見出しの活字が躍っていた。八月二十五日、ソ連共産党解散を報じるUSA TODAY紙日曜版の第一面である。滞在したニューヨークのホテルのこと。

深崎敏之副会長を団長とし、広島ユネスコ・クラブの学生四名（広大附高の男子二名、広島第一女子商高の女子二名）、両校の同クラブ顧問各一名から成る広島ユネスコ高校生海外研修団一行は、ニューヨークのジョンF・ケネディ国際空港をめざして、八月二十三日18時10分に大阪空港を飛び立った。広ユ協の倉田信雄顧問夫妻も全行程を同行された。

ニューヨークでの研修の中心は国連本部。あいにく日曜日だったため加盟国の国旗の掲揚はなく、ポールだけが淋しそうに空を指していた。私たちを含めた二十名ばかりの靴音と案内職

員の説明の声だけが廊下に響く。

ヒロシマのパネルと被爆した遺品の展示されているコーナーでは、何分間かを割いてかなり詳細な解説がある。案内係は夫君が外交官というソ連の女性。モスクワ出身という。冒頭に述べた日だっただけに印象に残った。別れ際に「スパシエーヴァ。ダスヴィダーニャ」（ありがとうさようなら）」と片言のロシア語を並べると、こぼれるような笑顔が返ってきた。惜しむらくは彼女も含めて案内は当然ながら英語によること。都合四回の事前研修で深崎団長から国連に関する詳しい資料に基づく指導があり、力を得たものの、細部にわたってはどの程度生徒に理解できたか。広大附高三年のY君によれば「まあ、半分ですわ」とのこと。そういえば、一階ロビーで急に立ちあがり、「あっ、フーコーの振り子」と叫んでカメラに収めたのも同君。

エンパイア・ステート・ビル

ディングの百二階の展望台にも立った。Y字路の角に聳える三角柱形のビルを指して「あんなの、日本にはありませんよねえ」と洩らしたのは第一女子商高三年のSさん。彼女の個人研究テーマは「アメリカの街並」である。顔を合わせると「スーパードコかにありませんか?」とつぶやき続けた同校三年のUさんのテーマは「日米の物価比較」。つられて入り、お義理で買われたプラムが存外に興味しかった。

セントラル・パークのメトロポリタン美術館で過ごした静かな時間を最後に、三日間のニューヨークでの研修を終え、次なる訪問地ロサンゼルスをめざしてラガーディア空港を飛び立つ。起床午前四時という、信じられないようなスケジュールだったが、全員しっかり目を覚ました。途中で立ち寄ったテネシー州メンフィスは、エルヴィス・プレスリーの出生の地。さすがに空港内売店には彼の姿をプリントしたTシャツが目立った。

ロサンゼルスでの研修は日米文化センターと日本のW製菓アメリカ本社との訪問。とくに後者では原料から製品に至るまでの全工程を詳しい説明をうかがいながら見学した。原料などの検

閲、在庫管理システム等の日米の違い、殆んどが現地人の従業員との意思疎通など、当初は苦労が絶えなかったと伺った。同社には丸一日チャーターしてマイクバスを提供していただいた上に、昼食に湖畔のレストランでイタリア料理をご馳走になった。ここ、ミッション・ヴィエホは世界で最も気候のおだやかな土地の一つと言う。心なしか湖面を渡ってくるそよ風も私たちの頬に快かった。

ただ一つ心残りは広大附高一年のI君があれほど楽しみにしていたドジャール球場での大リーグ観戦が日程の関係で実現できなかったことである。彼のテ

マは「メジャー・リーグ研究」。みずから軟式野球班にも所属している同君は、ニューヨークで買ったホワイト・ソックスの野球帽にご満悦で「日本には売ってらんけーね」と終始それを愛用して気を紛らわせていた。いささか禁を破って42番街回りまで私と足をのばしたときに見つけたものである。

それについても大都会での治安の悪さは聞きしにまさるものがあった。最初に訪れた十数年前のNYとは比較にならないほど深刻化しているという感を強くした。目を覆うばかりである。しかし、と思う。しかし、これも同じ地球人としての私たちの仲間であるアメリカの実現であり、その彼らとともに生きるにはどうすればよいか。彼らの悩みを自分自身のそれととらえ、その解決のために何ができるか。それを日常の生活でどう具現していくか。これらの問いかけこそが、今回の海外研修でのさまざまな体験とおして、改めて四名の高校生の一人ひとりから自らに課すテーマであるはずだ。21世紀に生きる彼らの旅は、まさにこの時点から始まったと言える。

(広島ユネスコ協会常任理事)



ミッション・ヴィエホ (ロサンゼルス)の一行



# サロン・ド・盛会 生演奏も菓子談義も

サロンとは言いながら、講義スタイルが、しかも、外国の政治、経済事情が多くを占めていた当サロンにあつて、このところ変化球が多投される傾向にある。軟化路線、いや柔軟路線の兆候は、サロン案内に付けたアンケート「講師にこの人を」が反映したのと言えそう。

後記の「演しもの」から、その変化を紹介すると、「ヨーロッパの菓子」は講師自からの手になる菓子を賞味しながらの美味しい集い(写真)。つづいて



「ヨーロッパの菓子」に舌鼓

通りアンデルセンで)、期待される。本年上半期の経過は次のとおり。

□5月25日「インドの最新社会事情」インドの農村開発調査(一九七二〜一九九〇年・八回調査)に従事して「藤原健蔵氏

(広島大学文学部教授)

□6月29日「ヨーロッパの菓子」の歴史「熊崎賢三氏(モーツアルト技術顧問)

□7月20日「チェコとわたし」中畝みどり(バイオリニスト)

□8月24日「わたしの見た日本・日本人」G・キャメロン・ハースト氏(ニューヨーク市立大学広島校学長)

□9月21日「ヒロシマ国際企画されており(14時から、本

## 講演「高齢化社会と人間の生き方」

日時 10月25日(金)18時30分

会場 広島市西区民文化センター

講師 柳田 邦男氏

(評論家、ノンフィクション作家、NHK解説委員。ポーン上田国際記者賞、大宅壮一ノンフィクション賞、日本対ガン協会賞など受賞)

主催 広島県、広島ユネスコ協会

後援 広島市民生委員・児童委員協議会、中国新聞社、NHK広島放送局

協賛 湧永製菓(株)

## 報告

マチュア映画祭にみる内外作家の視点」川本昭人氏(ヒロシマ国際アマチュア映画祭実行委員 広島エイトクラブ会長)

▼91年度広島ユネスコ協会総会 91年度計画等を討議、可決。役員改選は名誉会長は荒木武前

市長退任、平岡敬現市長就任。婦人会員の理事新任多数。青年部活動強化の意見など出る。出席25名。(5月25日、アンデルセン)

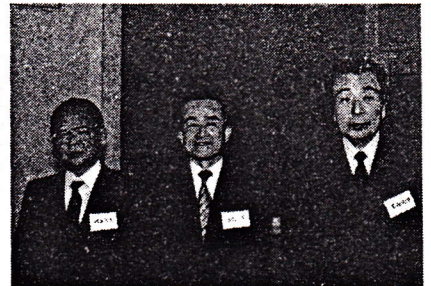
▼ユネスコ会員受賞祝賀会

文部大臣表彰受賞の内田憲至常任理事(視聴覚教育分野で)同じく太鼓矢晋常任理事(国際理解教育分野で)、NHK放送文化賞受賞の高橋昭博常任理事



今年度総会

内田、太鼓矢、高橋三氏(左から)



を囲んで祝賀パーティ開く(4月6日、アンデルセン)

▼ユネスコ全国大会参加

河村盛明顧問、倉田信雄顧問 深崎敏之副会長、信井正行事務局長参加(9月28・29日、東京都庁)

## 予定

▼10月25日(金)「柳田邦男氏講演会」(別掲)

▼10月27日(日)第32回ユネスコ国際交流サロン「中国近代絵画の源流」北京中央美術学院教授・李行簡氏。14時、アンデルセン

▼10月27日(日)「べあせろべ91」。在広外国人と日本人との交歓のつどい。10時、広島市中央公園芝生広場